

令和3年度

まちづくり助成活動実績報告書

令和4年3月

杉並区

## 令和3年度 まちづくり助成活動実績報告書 目次

コース	グループ名/代表者	活動テーマ	ページ
す て っ ぷ	ひとの樹 豊川 充子	地球のニーズに応えられる体制づくり	1
	西荻のこと研究所 松本 弘子	西荻窪エリアにおいて、未来へ向かう道筋の中、当事者を置き去りにせず、まちに暮らす人、商いをする人、土地を守る人、訪れる人…とともにプロセスを大切にしていちまちちを育て、人も育っていける場づくりを行います。	8
	あさうんど・あーす 梶山 あや	コロナ禍においても体験型コミュニティ講座の継続的促進におけるまちづくり（テーマ型活動）	13
び ぎ な ー	高井戸公園 アニマルズクラブ 中村 宗亮	動物と一緒に暮らしている人もそうでない人も、人も動物も、地域に生息する生き物全てが快適に利用できる場づくりまちづくり	19
	ままころ 湯澤 美典	「ままころゴミ月間」	24

この冊子は、「びぎなーコース（区民等が新しく取組みを始めるまちづくりを対象）」、「すてっぷコース（区に登録したまちづくり団体が行うまちづくりを対象）」の1年間の活動をまとめたものです。

まちづくりを行っているみなさん、新しくまちづくりを始めようとするみなさんの参考にしていただければ幸いです。

令和4年3月 杉並区都市整備部管理課

### <まちづくり助成制度>

平成7年度から11年度	杉並区まちづくり公社
平成12年度から29年度	杉並区都市整備部まちづくり推進課
平成30年度から	杉並区都市整備部管理課

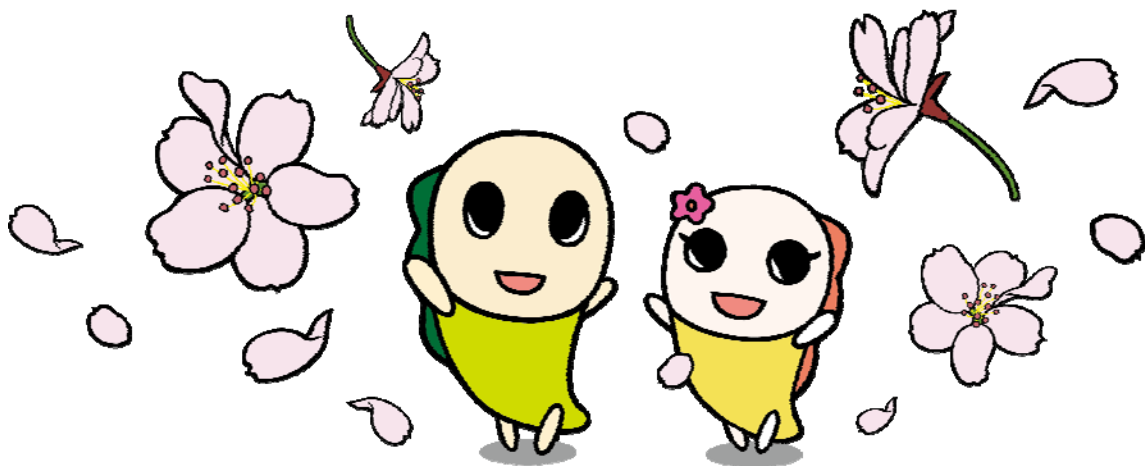
# すてっぴコース

区に登録したまちづくり団体が行うまちづくりが対象

「ひとの樹」

「西荻のこと研究所」

「あさうんど・あーす」



令和4年 3月 23日

杉並区長 宛

申請者

氏名 豊川 充子

### まちづくり助成活動実績報告書

令和3年6月21日付けで交付決定通知を受けたまちづくり助成金に係る活動の実績について、下記のとおり報告します。

記

団 体 名	ひとの樹
事 業 期 間	令和3年 4月 1日～ 令和4年 3月31日
交付決定を受けた助成金の額	70,000 円
活動に要した経費の額	52,399 円

添付書類

1 事業報告

2 会計報告

(1) 事業実績報告

(1) 収支内訳書

(2) 活動写真

(2) 領収書

(3) その他

(3) その他

## 事業実績報告①

団 体 名	ひとの樹
代 表 者	豊川 充子
活 動 テ ー マ	地域のニーズに応えられる体制づくり
団 体 紹 介	<p>人と人とのつながりや経験などの財産が、次の世代に受け継がれ、時代に沿った形で発展していける循環型のしくみを地域につくるために、平成 18 年 3 月に立ち上げました。普段からのお付き合いや、顔見知りの関係が、いざという時の安心につながると考え、世代や立場を越えて助けあえる関係づくりを目指しています。</p> <p>こどもから大人まで、この地域で暮らす人たちが健やかに暮らせるよう、こころとからだの健康づくりを応援し、地域で活躍できるような場の提供を考えていきます。また、個人だけでなく、町会をはじめとする地域の団体や学校などの教育機関、商店などとのつながりを図り、この地域で長年行われてきた恒例行事が今後も継続できるよう、関係各所への働きかけ、協力体制の構築などもしていきます。</p> <p>旧杉八小震災救援所における、新たな仕組みづくりに参画していきます。</p>

## 事業実績報告②

団体名 ひとの樹

活動記録 年 月	令和3年4月1日～令和4年3月31日の活動内容を記入してください。 ただし、提出日から令和4年3月31日までは <u>予定</u> を記入してください。
令和3年4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	2021年度旧杉八小震災救援所の活動計画などの会議 定例会議・旧杉八小震災救援所運営連絡会 定例会議・旧杉八小震災救援所運営連絡会 旧杉八小震災救援所運営連絡会訓練 旧杉八小震災救援所運営連絡会サポートメンバー募集開始 旧杉八小震災救援所運営連絡会の組織改変やマニュアル作成の打ち合わせ 定例会議 旧杉八小震災救援所運営連絡会の組織改変マニュアル作成防災課と打ち合わせ 杉並社協より取材 旧杉八小震災救援所運営連絡会の組織改変等の体育館施設担当者と打ち合わせ 定例会議 定例会議 旧杉八小震災救援所運営連絡会 高円寺体育館「スポーツフェスタ」防災イベント企画打ち合わせ 地元企業のリサーチ 高円寺体育館「スポーツフェスタ」防災イベント企画打ち合わせ 高円寺体育館「スポーツフェスタ」 定例会議 高円寺南2丁目の支え合いを考える会 旧杉八小震災救援所運営連絡会 企画打ち合わせ 地域交流「地域について考えよう！」 旧杉八小震災救援所運営連絡会倉庫見直し 定例会議
令和4年1月 2月	旧杉八小震災救援所運営連絡会のマニュアル作成の打ち合わせ 定例会議 旧杉八小震災救援所運営連絡会訓練 高円寺南2丁目の支え合いを考える会 定例会議 旧杉八小震災救援所運営連絡会のマニュアル作成の打ち合わせ サポートメンバーへのレクチャー会&防災ポーチ講座
《予定》 2月 3月	地域交流「地域について考えよう！」 旧杉八小震災救援所運営連絡会 定例会議 高円寺南2丁目の支え合いを考える会

## 今後の活動の予定と抱負

旧杉八小震災救援所運営連絡会の新しい組織構築  
高円寺南2丁目の支え合いを考える会（ケア24梅里主催）への参加  
顔面体操教室  
防災0日講座

今まで培ってきた関係を高円寺南地域の発展に繋げていくために、残していくこと、変わっていかなくてはいけないことなどを見極め理解しながら、現在中心に行っている旧杉八小震災救援所運営連絡会の新しい組織構築に生かしていきます。

この3年間でひとの樹が取り組んできた地域活動によって、この地域が抱える課題が明確になり、危機感を共有できる地域の方々とも新たに会えることができました。

これからできる新しい複合施設のことも見据え、震災救援所を中心としながらも、震災救援所という今までの震災に関する救援や、復旧活動の支援を目的としていたあり方から一歩踏み出した、地域の人たちが積極的に関わられるような新しい組織づくりを目指します。

今後も、地域全体を巻き込んでいき、人、町会、自治会、商店街、企業、教育関連など個人や団体を結びつけ、そこから生まれる新たな関係性を基盤に目的を実現するために、今後も精力的に取り組んでいきます。

昨今、個々や町会などの関係性が脆弱となり、地域活動に担い手不足による様々な事業継続が危ぶまれる現状から抜け出すためには、必要な取り組みと考えています。

# 収支内訳書

団体名 ひとの樹

## 【収入】

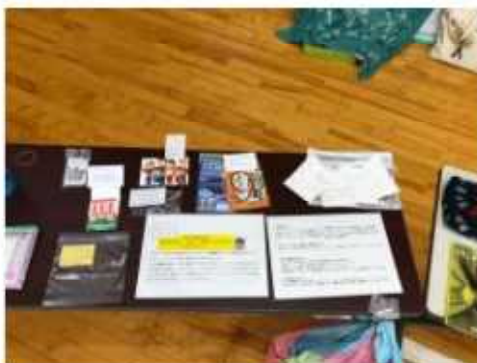
費目	金額	備考
会費	円	
まちづくり助成金	70,000 円	
その他	円	
合計	70,000 円	

## 【支出】 ※(1)～(3)は必ず領収書を添付してください。

費用	内容	金額	合計金額
(1) 学習活動費	会場費 資料作成	9,900 2,700	12,600
(2) 広報活動費	のぼり代 印刷代(A4・200部)	7,411 6,300	13,711
(3) 事務運営 ・事業実施費	消耗品費	26,088	26,088
(4) その他			
合計			52,399

- (1) 学習活動費 : 講師謝礼、学習会資料作成費、会場使用料など  
 (2) 広報活動費 : パンフレットやニュース、報告書等の作成費など  
 (3) 事務運営 : 団体運営や事業実施に必要な消耗品や備品の購入費、郵送料など  
 ・事業実施費  
 (4) その他 : その他の支出（助成対象外経費）







高円寺体育館



集合・説明



受付



アンケート



備蓄品説明



避難場所の広さ



総括

第7号様式(第11条関係)

令和 4年 3月 23日

杉並区長 宛

申請者

氏名 松本弘子

まちづくり助成活動実績報告書

令和3年6月21日付けで交付決定通知を受けたまちづくり助成金に係る活動の実績について、下記のとおり報告します。

記

団 体 名	西荻のこと研究所
事 業 期 間	令和3年 4月 1日～ 令和4年 3月31日
交付決定を受けた助成金の額	70,000 円
活動に要した経費の額	72,330 円
添付書類	1 事業報告 (1) 事業実績報告 (2) 活動写真 (3) その他
	2 会計報告 (1) 収支内訳書 (2) 領収書 (3) その他

# 事業実績報告①

団体名	西荻のこと研究所
代表者	松本弘子
活動テーマ	西荻窪エリアにおいて、未来へ向かう道筋の中、当事者を置き去りにせず、まちに暮らす人、商いをする人、土地を守る人、訪れる人…とともにプロセスを大切にしていける場づくりを行います。
団体紹介	西荻のこと研究所は、ここ西荻窪で、街の主役である住民が主体となり、西荻窪を愛するより多くの人々が参画・参加し、これからの時代に求められるまちづくりを実現できるよう、以下の活動を行います。





## ■活動内容

- (1) 情報収集 (2) 情報発信・共有 (3) 住民の意見を行政に届ける
- (4) 専門家との連携 (5) 住民主体のまちづくり提案
- (6) 「西荻らしさ」の探求 (7) にぎわい確保
- (8) ほか、まちづくりに関すること

## ■活動履歴

西荻のこと研究所の活動内容



活動記録 年月	令和3年4月1日～令和4年3月31日の活動内容を記入してください。 ただし、提出日から令和4年3月31日までは <u>予定</u> を記入してください。
<p>年間共通 令和3年</p> <p>6月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>12月</p> <p>令和4年</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p>	<p>活動メンバーミーティング（週1回）、メルマガ発行（隔週）</p> <p>●「北銀座通り拡幅事業の自由研究発表会」開催（ヒューマンプラザ 千代野にて） 店先での説明：約 550 人、展示見学者：約 160 人 ○「ちょっと昔の西荻の話」開催</p>   <p>○「ことビル」拠点運営開始</p> <p>●トークイベント「西荻のこと、まちのこと、道路のこと」開催 （オンライン開催）参加者約 80 名 目的：大きな変化の時期を迎えている西荻窪駅周辺のまちづくりについて、専門家の力を借りて、市民でビジョンを共有していくためのきっかけづくり</p>  <p>○地域イベント（ハロウィン）参加</p> <p>○「勝手にオープンハウス」開催（ことビルシネマ準備室にて） ○北銀座通りまちあるきプレ調査 目的：国土交通省が公開している「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成支援ツール「まちなかの居心地の良さを測る指標（案）」を活用して、北銀座通りのプレ調査を実施</p>  <p>○神明通りあさ市への参加</p> <p>○次年度の事業計画づくり ○「西荻大調査」助成申請</p> <p>○杉並区まちづくり助成活動報告会参加</p>

今後の活動の予定と抱負

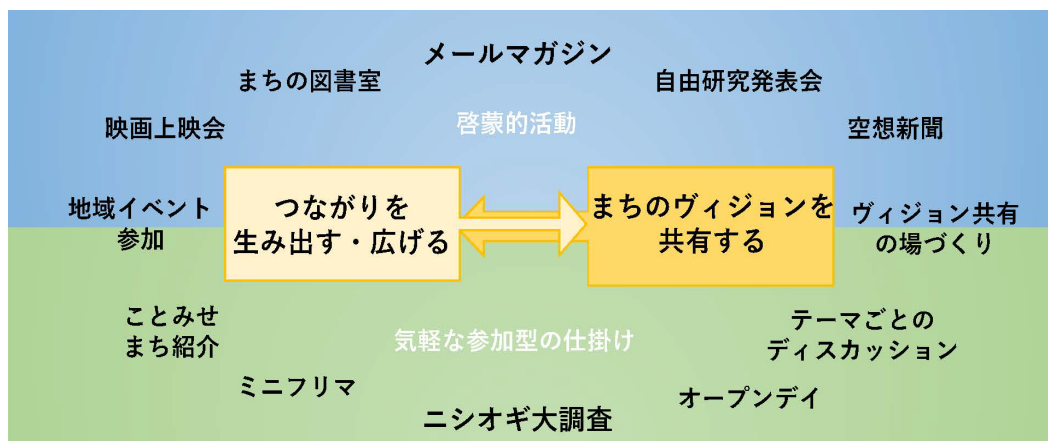
■今後の活動方針

住民の納得のもとにまちづくりを進めるために、

- ① 既存の商店会や町内会など、公の活動との関係を築き、
- ② こと研の活動をオープンにし、新しい人とつながりをつくって顕在化しにくい声を掘り起こし、
- ③ 実際のまちの魅力と課題を調査分析によって客観化し
- ④ 行政と住民の対話の場をつくる。

ことを目指したいと考えています。

■2022年度の活動計画



■具体的な活動内容 Ex. (仮称) 居心地の良さニシオギ大調査

- ・ 調査の目的：西荻窪エリアの“西荻らしさ”をまちあるき調査を通じて再確認し、次世代のまちづくりに向けた提案をまち全体で共有することを目的とします。
- ・ 調査期間：2022年6月～2022年12月31日
- ・ 調査エリア：JR西荻窪（杉並区）界隈の道路及び沿道  
(主に北銀座通り、神明通り)
- ・ 調査参加者：西荻のまちに係るひとたち（住民、商店主、学生、来街者等）
- ・ 調査手法：「まちなかの居心地の良さを測る指標（案）」（国土交通省 都市局 まちづくり推進課）を調査ツールとして採用  
([https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi\\_machi\\_fr\\_000009.html](https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_machi_fr_000009.html))  
まちなかを歩きながら簡易に現状把握し、地域の個性と魅力を引き出すために必要なこと、人々の活動があふれる空間にするに必要なことを検討します。

居心地の良い“西荻らしさ”の再認識と次世代のまちづくりへの提案  
地域で共有する機会を複数回もうけ、行政に提案

# 収支内訳書

団体名 西荻のこと研究所

## 【収入】

費目	金額	備考
会費	45,000円	年会費 3,000円×15人
まちづくり助成金	70,000円	
その他	0円	
合計	115,000円	

## 【支出】 ※(1)～(3)は必ず領収書を添付してください。

費用	内容	金額	合計金額
(1) 学習活動費	講師謝礼 (2名×20000円) (大学教授2時間講演予定)	40,000円	46,000円
	会場費2 (講演2時間+準備1時間)	6,000円	
(2) 広報活動費	研究発表会 ちらし作成・印刷	6,330円	26,330円
	会場費1 (研究発表会2日間)	20,000円	
(3) 事務運営 ・事業実施費			
(4) その他			
合計			72,330円

- (1) 学習活動費 : 講師謝礼、学習会資料作成費、会場使用料など  
 (2) 広報活動費 : パンフレットやニュース、報告書等の作成費など  
 (3) 事務運営 : 団体運営や事業実施に必要な消耗品や備品の購入費、郵送料など  
 ・事業実施費  
 (4) その他 : その他の支出 (助成対象外経費)

令和4年 3月 23日

杉並区長 宛

申請者

氏名 梶山 あや

### まちづくり助成活動実績報告書

令和3年6月21日付けで交付決定通知を受けたまちづくり助成金に係る活動の実績について、下記のとおり報告します。

記

団 体 名	あさうんど・あーす
事 業 期 間	令和3年 4月 1日～ 令和4年 3月31日
交付決定を受けた助成金の額	70,000 円
活動に要した経費の額	61,513 円

添付書類

1 事業報告

2 会計報告

(1) 事業実績報告

(1) 収支内訳書

(2) 活動写真

(2) 領収書

(3) その他

(3) その他

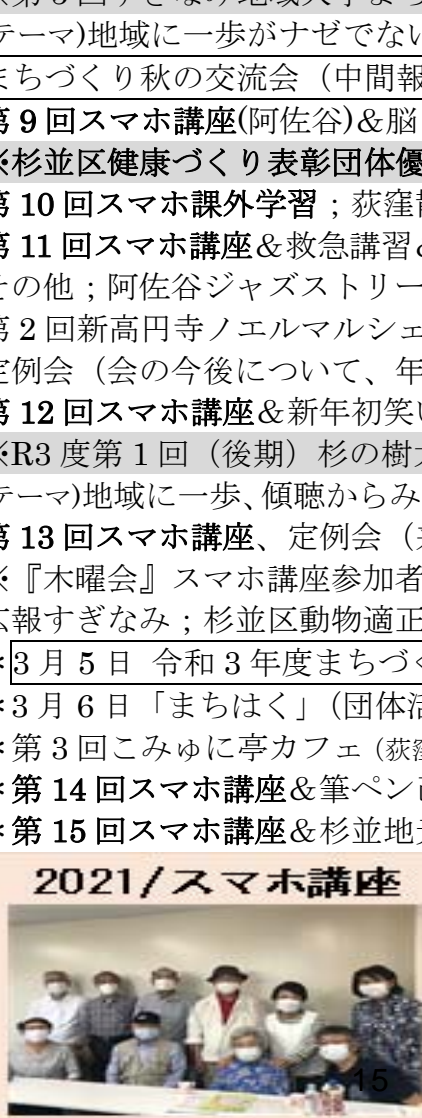
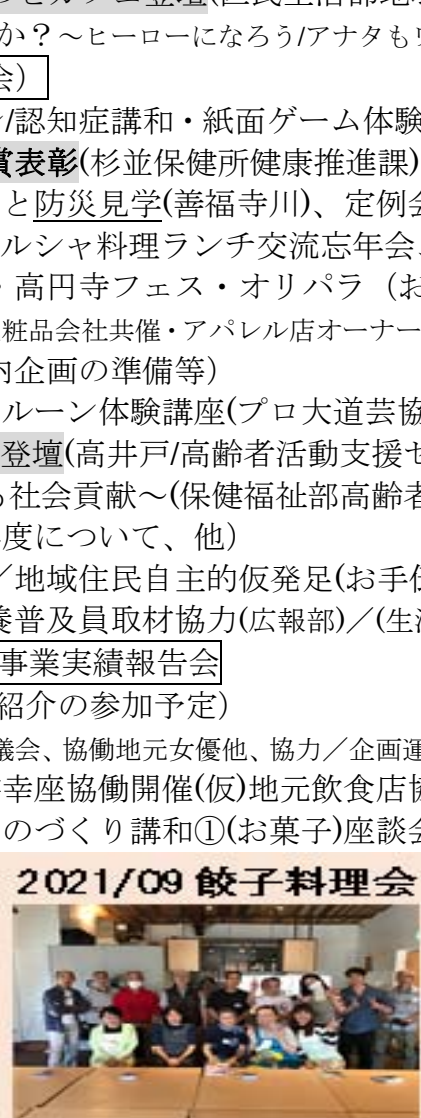


## 事業実績報告①

団 体 名	あさうんど・あーす
代 表 者	梶山 あや
活 動 テーマ	コロナ禍においても体験型コミュニティ講座の継続的促進におけるまちづくり（テーマ型活動）
団 体 紹 介	<p>「あさうんど・あーす」とは、すぎなみ地域大学まちあわせカフェのまちづくり講座がきっかけで集まった有志で2020年結成後、2年目は他の区民方々へとつながりながら「誰もが住みやすい杉並のまち」にするまちづくりを目的とする団体です。</p> <p>“ひととひと” “ひととまち” がつながる為の世代間交流や異分野・団体等との協働、コミュニティのきっかけを「さまざまな企画・テーマ」で“つなぐ”ことを目指します。</p> <p>2020年8月施行の初年度は、11月に「手づくりマスク講座」と翌年3月「パパ限定親子でダンス」を企画し、参加者同士のつながりだけでなく、多世代コミュニティともつながるきっかけづくりを実現できました。（未就学児0歳～後期高齢者まで）</p> <p><u>2021年度は、「超初心者スマホ講座」を毎月1回・デジタル普及応援を目標として開催、1つテーマ継続の企画を主軸としてを通年に開催しました。（2022年3月まん延防止期間予測にて実施は未定）</u></p> <p>なぜなら、新型コロナ禍において生活の変化が極めて激しい時代に超高齢化社会も到来しているなど「(世代別の)情報格差」が区民の身近な悩みの1つとして顕著な地域課題だからです。</p> <p>特に高齢者対象講座ではなくとも、1年間の参加者平均年齢は60～80代でした。新型コロナ禍のため「安心・安全」である講座運営のご要望も多い反面、新しいデジタル時代に不慣れな高齢者世代は、「体験型」普及での対応が今後とも現実の課題にあります。</p> <p>（以下、参考）令和4年(2022年)1月  <b>※杉並区基本構想～みどり豊かな住まいのみやこ～ より</b>  「まちづくり・地域産業」（多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち）重点的な取組／ ①地域特性を生かした駅周辺まちづくり ②安心・安全で利便性の高い移動環境の創出 ③魅力的で居心地の良い、出かけたくなるまちづくり ④にぎわいと活力を生み出す地域産業の復興、とあります。（最新10年版）</p>

## 事業実績報告②

団体名 あさうんど・あーす

活動記録 年 月	令和3年4月1日～令和4年3月31日の活動内容を記入してください。 ただし、提出日から令和4年3月31日までは <u>予定</u> を記入してください。
2021年 R3	【概要】「さまざまな企画」で“つなぐ”テーマ型の活動
1月～3月	第1回スマホ講座(1月)、第2回スマホ講座・ベトナムランチ交流会(2月) 第3回スマホ講座(3月)・親子ダンス・異文化交流阿佐谷散歩(外国人)
4月	第4回スマホ講座(荻窪)、定例会、 JR 高架下倉庫「健康マルシェ」脳トレバルーン講座企画(協力参加) 主催；阿佐谷百貨店・協力；杉並区社会教育委員会、地元事業主様他 スマホ講座・定例会(計報中止)
5月	第5回スマホ講座(阿佐谷)、定例会
6月	第6回スマホ講座(阿佐谷)、定例会
7月	第2回こみゆに亭カフェ (荻窪協議会、協力／企画運営・司会) ※杉並区長寿応援ポイント制度／いきがい活動支援まちづくり活動認定
8月	(保健福祉部高齢者施設課)、広報すぎなみオリパラ活動表紙参加(広報部)
9月	第7回スマホ講座(阿佐谷)、定例会、夏ボラ参加(杉並区社会福祉協議会) 第8回スマホ講座(いんにつさん／ワーキングスペース／杉並区成田東) &餃子づくり交流会、定例会 ※第5回すぎなみ地域大学まちあわせカフェ登壇(区民生活部地域課) (テーマ)地域に一步がなぜでないのか?～ヒーローになろう/アナタもワタシも
10月	まちづくり秋の交流会 (中間報告会) 第9回スマホ講座(阿佐谷)&脳トレ/認知症講和・紙面ゲーム体験、定例会
11月	※杉並区健康づくり表彰団体優秀賞表彰(杉並保健所健康推進課) 第10回スマホ課外学習；荻窪散策と防災見学(善福寺川)、定例会
12月	第11回スマホ講座&救急講習&ペルシャ料理ランチ交流忘年会、定例会 その他；阿佐谷ジャズストリート・高円寺フェス・オリパラ (お手伝い) 第2回新高円寺ノエルマルシェ (化粧品会社共催・アパレル店オーナー協力開催) 定例会 (会の今後について、年度内企画の準備等)
1月	第12回スマホ講座&新年初笑いバルーン体験講座(プロ大道芸協働) ※R3度第1回(後期)杉の樹大学登壇(高井戸/高齢者活動支援センター) (テーマ)地域に一步、傾聴からみえる社会貢献～(保健福祉部高齢者施策課)
2月	第13回スマホ講座、定例会 (来年度について、他) ※『木曜会』スマホ講座参加者様／地域住民自主的仮発足(お手伝い) 広報すぎなみ；杉並区動物適正飼養普及員取材協力(広報部)／(生活衛生課)
3月	*3月5日 令和3年度まちづくり事業実績報告会 *3月6日「まちはく」(団体活動紹介の参加予定) *第3回こみゆに亭カフェ (荻窪協議会、協働地元女優他、協力／企画運営・司会) *第14回スマホ講座&筆ペン己書幸座協働開催(仮)地元飲食店協力予定 *第15回スマホ講座&杉並地元ものづくり講和①(お菓子)座談会付予定
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="403 1055 874 1099"> <p>2021/スマホ講座</p>  </div> <div data-bbox="882 1055 1353 1099"> <p>2021/09 餃子料理会</p>  </div> </div>

今後の活動の予定と抱負

◆※『あさうんど・あーす』名称の由来は、会訓理念込めた想いの造語です。  
 “あさ” 一朝一夕・一日の計は朝にありなどより。または阿佐谷のあさでも良しか！  
 “さうんど” 英語の sound より音を聴く・声を聞くなど常に【傾聴の心】平和の根源？  
 “あーす”【明日】または英語の earth【地球】  
 まち上では通称垣根のない「地球人会」とも皆様に呼ばれます。その他「あさうどん」と裏呼び名もあるようです。そのうち「かけうどん」の愛称になるかもしれません。



◆あさうんど・あーすとは？

『だれもが孤独・孤立無援のない世界へ』 ～友が共へ∞輪が和へ

◆活動の想い

『近未来に夢がある。創造に明日がある。』 →想像／騒々しくも、可！

◆活動の目的

→ コミュニティのきっかけを「さまざまな企画・活動」で“つなぐ”テーマ型のまちづくり。

(仮説) お一人おひとり様が繋がる事で杉並区のまち活性化や産業復興等になるのか。今後、地域住民の自発性によるツナガリづくりの可能性は新しく生まれるか。

◆活動の経過

- (1)2021年度は通年に初心者スマホ講座を実施。開催に併用して区民交流会も各種実践。
- (2)アナログにない方は、各種デジタル手段を使用して常に連絡ができる環境をつくる。
- (3)幣会基本方針に会運営も参加者側も出欠は個人にしても自由選択制の地域活動主体。
- (4)まち上にある既存各種スペースを協働・協力に相互活用する。(空き家や店舗等々)
- (5)地域活動普及と分母拡充、既存地域活動の継続に“三世代ツナガリ”をつくろう！

→2020年8月より『100友づくり・101企画目標に現時点34企画実践。』

◆継続の活動(予定)

- (6)初心者スマホ講座 → 開催回数の増加。中級クラスの設定。フォローアップシステム？
- (7)デジタル化の普及をリアル実施に開催を継続する事。(オンラインも視野に)
- (8)お一人おひとり様のツナガリをつくる理念に日常の言動を積重ね交流会も実施する。
- (9)分け隔てのない人間関係づくり・知らないことを知る学び・声かけ愛感謝キャンペーン。
- (10)持続可能な開発目標(SDGs) → 「日常の」諸課題の解決を具体的に目指す。

◆2022年のあさうんど・あーすの“夢”

- \*キッチンカー等販売促進企画(販路・スペースマッチング活動)
- \*高架下企画地域活性化事業(春の諸イベント計画)
- \*すぎなみ発信！**レッドカーペットが飛ぶ**(各商店街持込み企画)100m 敷き前向き歩く！
- \*2022年12月『**楽市楽笑**』SDGs イベント(企画)目標、実行委員立ち上げ、等
- ※御協力・御支援・御指導等々、絶賛募集中！！(お問合せ:あさうんど・あーす宛)



# 収支内訳書

団体名 あさうんど・あーす

## 【収入】

費目	金額	備考
会費	10,000 円	2,000 円 (内訳: 年間×5名)
まちづくり助成金	70,000 円	
その他	円	
合計	80,000 円	

## 【支出】 ※(1)～(3)は必ず領収書を添付してください。

費用	内容	金額	合計金額
(1) 学習活動費	学習会資料作成費 (スマホ講座)	16,081 円	60,181 円
	講師謝礼費 (別紙参照)	30,000 円	
	会場使用料費 (別紙参照)	14,100 円	
(2) 広報活動費			
(3) 事務運営 ・事業実施費	印刷代・消耗品費	1,332 円	1,332 円
(4) その他			
合計			61,513 円

- (1) 学習活動費 : 講師謝礼、学習会資料作成費、会場使用料など  
 (2) 広報活動費 : パンフレットやニュース、報告書等の作成費など  
 (3) 事務運営 : 団体運営や事業実施に必要な消耗品や備品の購入費、郵送料など  
     ・事業実施費  
 (4) その他 : その他の支出 (助成対象外経費)

(別紙参照)

## 【杉並区都市整備部】まちづくり事業実績報告③収支内訳書

## 《助成金に係る支出》

## ◆会場使用料費(内訳)

令和3年

日付	場所	
4月15日	荻窪地域区民センター	
6月14日	阿佐谷地域区民センター	
7月19日	阿佐谷地域区民センター	
8月23日	阿佐谷地域区民センター	
10月31日	株式会社水雅(成田東)	いんにつさん(スペース)／開催日9月19日
10月11日	阿佐谷地域区民センター	
12月17日	阿佐谷地域区民センター	

令和4年

1月13日	阿佐谷地域区民センター
2月3日	阿佐谷地域区民センター

## ◆講師謝礼費(内訳)

令和3年

日付	内容／所属、講師名
10月11日	脳トレ/認知症講和会・紙面ゲーム体験 特定非営利活動法人 日本成人病予防協会認定講師 羽田由利子
12月17日	救急講習/東京消防庁版 特定非営利活動法人 日本成人病予防協会認定講師 羽田由利子
1月13日	新年初笑い脳トレバルーン体験講座 東京都生活文化局 ヘブンアーティスト認定講師/プロ大道芸 松原 要

## ◆杉並区健康づくり表彰 団体優秀賞(2021年11月2日授賞式)



# びぎなーコース

区民等が新しく取り組みを始めるまちづくりを対象

「高井戸公園アニマルズクラブ」

「ままころ」



第7号様式(第11条関係)

令和 4年 3月 23日

杉並区長 宛

申請者

氏名 中村 宗亮

まちづくり助成活動実績報告書

令和3年6月21日付けで交付決定通知を受けたまちづくり助成金に係る活動の実績について、下記のとおり報告します。

記

団 体 名	高井戸公園アニマルズクラブ	
事 業 期 間	令和3年 4月 1日～ 令和4年 3月31日	
交付決定を受けた助成金の額	30,000	円
活動に要した経費の額	33,020	円
添付書類	1 事業報告 (1) 事業実績報告 (2) 活動写真 (3) その他	2 会計報告 (1) 収支内訳書 (2) 領収書 (3) その他

## 事業実績報告①

団 体 名	高井戸公園アニマルズクラブ
代 表 者	中村 宗亮
活 動 テ ー マ	動物と一緒に暮らしている人もそうでない人も、人も動物も、地域に生息する生き物、全てが快適に利用できる場づくりまちづくり
団 体 紹 介	<p>・私たちは 2020 年都立高井戸公園へのドッグラン創設を求めて署名活動をおこなったメンバーが中心となり立ち上げた団体です。</p> <p>・その後、都立高井戸公園を中心に地域住民（動物と一緒に暮らしている人もそうでない人も）だけでなく、一緒に暮らしている動物、地域に生息する生き物、全てが快適に利用できる場づくり、をコンセプトに掲げ、そのような視点から考えられるまちづくりや地域のつながりについて月に 1 回程度集まり話し合いを行っています。</p> <p>・2021 年度は高井戸警察と一緒にわんわんパトロール隊を結成し、地域パトロールの輪を広げていきました。</p>



## 事業実績報告②

団体名 高井戸公園アニマルズクラブ

活動記録年 月	令和3年4月1日～令和4年3月31日の活動内容を記入してください。 ただし、提出日から令和4年3月31日までは <u>予定</u> を記入してください。
5月1日	第1回ミーティング（これからの会の活動について）
7月8日	第2回ミーティング（マナー教室、わんわんパトロールについて）
8月5日	第3回ミーティング（わんわんパトロール、会のマークについて）
8月16日	高井戸警察ヒアリング（わんわんパトロールについて）
9月9日	第4回ミーティング（わんわんパトロール、腕章について）
10月14日	第5回ミーティング（わんわんパトロール、腕章について）
10月16日	杉並区活動報告会
11月15日	わんわんパトロール結成式（高井戸公園）
12月16日	第6回ミーティング（腕章の配布、チラシ作りについて）
1月20日	第7回ミーティング（まちはく、ペットと震災時避難について）
2月17日	第8回ミーティング（来年度の活動について）
3月5日	杉並区活動報告会  <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記以外に10月からは各自防犯腕章をつけて朝晩一日2回程度のパトロール（犬の散歩）</li> <li>・会のワークはメンバーのお子さん（中学生）がデザインしてくれ、会のマークを付けた素敵な腕章が出来ました。</li> </ul>

今後の活動の予定と抱負

- ・パトロール隊員の拡充
- ・マナー教室の開催
- ・防災時のペットとの避難について考える
- ・地域に受け入れられるドッグランについて考える

# 収支内訳書

団体名 高井戸公園アニマルズクラブ

## 【収入】

費目	金額	備考
会費	円	
まちづくり助成金	30,000 円	
その他	3,500 円	寄付:1,000 円×1 人、2,000 円×1 人、 100 円×5 人
合計	33,500 円	

## 【支出】 ※(1)～(3)は必ず領収書を添付してください。

費用	内容	金額	合計金額
(1) 学習活動費			
(2) 広報活動費	腕章制作費 (20 枚)	31,900 円	31,900 円
(3) 事務運営 ・事業実施費	活動報告会出席交通費 コピー代 消耗品	780 円 230 円 110 円	1,120 円
(4) その他			
合計			33,020 円

- (1) 学習活動費 : 講師謝礼、学習会資料作成費、会場使用料など  
 (2) 広報活動費 : パンフレットやニュース、報告書等の作成費など  
 (3) 事務運営 : 団体運営や事業実施に必要な消耗品や備品の購入費、郵送料など  
     ・事業実施費  
 (4) その他 : その他の支出 (助成対象外経費)

第7号様式(第11条関係)

令和4年 3月23日

杉並区長 宛

申請者

氏名 湯澤 美典

まちづくり助成活動実績報告書

令和3年6月21日付けで交付決定通知を受けたまちづくり助成金に係る活動の実績について、下記のとおり報告します。

記

団 体 名	ままころ	
事 業 期 間	令和3年 4月 1日～ 令和4年 3月31日	
交付決定を受けた助成金の額	30,000	円
活動に要した経費の額	30,457	円
添付書類	1 事業報告 (1) 事業実績報告 (2) 活動写真 (3) その他	2 会計報告 (1) 収支内訳書 (2) 領収書 (3) その他

## 事業実績報告①

団 体 名	ままころ
代 表 者	湯澤 美典
活 動 テーマ	令和 3 年度は 「ままころゴミ月間」
団 体 紹 介	<p>この会は主に杉並区に在住する、未就学児とその保護者、妊婦を対象に「ゆっくりとやすらげるいやしの場」を提供することを目的とし、平成 22 年 11 月からボランティア活動を行なっております。</p> <p>コロナ以前は「季節のお茶と手作りケーキ」を利用者に楽しんで頂いておりました。</p> <p>令和 2 年からはオンライン開催を開始いたしました。オンラインでは、杉並区以外の人ともつながれます。しかし、同時に感じた事は、この杉並のまちで共に生活しているという「共感と安心感」です。子育て世代が「このまち杉並で子育てできて良かった」と思ってもらえるよう、活動しております。</p> <p>オンライン開催に続き、野外開催を行いました。馬橋公園では遊びの他、ゴミ拾いをして美しいまちづくりを実践いたしました。ふらっと阿佐谷では、絵本の読み聞かせ、幼児工作、子育て相談を中心に開催しております。</p>

活動記録 年 月	令和3年4月1日～令和4年3月31日の活動内容を記入してください。 ただし、提出日から令和4年3月31日までは <u>予定</u> を記入してください。
7月 9月 10月 12月 2月 3月	<p>&lt;ままころ ふらっと阿佐谷 対面開催&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の読み聞かせ、幼児工作、子育て相談</li> <li>・4月～3月</li> <li>・開催回数 20 回</li> <li>・参加者 247 人、活動者 44 人</li> </ul> <p>七夕イベント：笹に短冊やお飾りをする お月見イベント：小麦粉粘土でお団子作り ハロウィンイベント：トイレットペーパーの芯でハロウィンの人形作り ゴミ月間イベント「環境学習会」：杉並清掃事務所様とイベント開催 クリスマスイベント：音の出るおもちゃを作ってみんなで演奏 節分イベント：鬼の面や人形作り ひな祭りイベント：ひな人形作り</p> <p>&lt;ままころ 野外開催@馬橋公園&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞輪投げ、電車ごっこ、子育て相談、ゴミ拾い</li> <li>・6月、10月、11月</li> <li>・開催回数 3 回</li> <li>・参加者 30 人、活動者 7 人</li> </ul> <p>&lt;ままころ オンライン開催&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の過ごし方、子育て相談、心と体の話、家事など</li> <li>・4月～12月</li> <li>・開催回数 18 回</li> <li>・参加者 91 人、活動者 35 人</li> </ul> <p>&lt;ぱぱころ ふらっと阿佐谷 対面開催&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の読み聞かせ、幼児工作、子育て相談</li> <li>・4月、7月</li> <li>・開催回数 2 回</li> <li>・参加者 20 人、活動者 3 人</li> </ul>

## 今後の活動の予定と抱負

令和4年度はふらっと阿佐谷にて対面開催、飲食は行わず、令和3年度同様、絵本の読み聞かせ、幼児工作、子育て相談中心に行う予定です。

春・秋には野外開催も検討しております。

ままころゴミ月間として、杉並区清掃事務所様とコラボレーションした「環境学習会」が大好評につき、継続的に行う予定です。

コロナの状況が落ち着き、飲食が可能となれば、利用者とおにぎりに味噌汁などを作り、交流の場としたいです（開催歴有）。

「ゆっくりとやすらげるいやしの場」を今後も提供するよう、努めてまいります。

コロナ生活で、外との交流の機会のとり方に困っている子育て中の人が増えていると感じます。そのような人にどうアプローチできるか、が一番の課題です。それには、私共のような、一ボランティア団体の力は限られております。是非、杉並区として「心に寄り添う子育て活動」を提案して頂きたいと切に願います。

# 収支内訳書

団体名       ままころ      

## 【収入】

費目	金額	備考
会費	0円	
まちづくり助成金	30,000円	
その他	0円	
合計	30,000円	

## 【支出】 ※(1)～(3)は必ず領収書を添付してください。

費用	内容	金額	合計金額
(1) 学習活動費	杉並区まちづくり助成セミナーなど 交通費	1,320円	1,320円
(2) 広報活動費			
(3) 事務運営 ・事業実施費	馬橋公園ゴミ拾い協力参加賞代	8,420円	8,420円
	プリンターインク代	1,839円	1,839円
	幼児工作材料代	18,878円	18,878円
(4) その他			
合計			30,457円

- (1) 学習活動費 : 講師謝礼、学習会資料作成費、会場使用料など  
 (2) 広報活動費 : パンフレットやニュース、報告書等の作成費など  
 (3) 事務運営 : 団体運営や事業実施に必要な消耗品や備品の購入費、郵送料など  
     ・事業実施費  
 (4) その他 : その他の支出（助成対象外経費）



令和3年度 まちづくり助成活動実績報告書

登録印刷物番号

令和3年度版

03 - 0109

令和4年3月発行

編集・発行 杉並区都市整備部管理課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

TEL (03) 3312-2111 (代)

☆杉並区のホームページでご覧になれます。 <https://www.city.suginami.tokyo.jp>